



我が心の西条

第三回

歴史小説家 菅 靖 匡

西条にゆかりの古戦場巡り、今回は時節柄、『忠臣蔵』にちなんで高田馬場へお誘います。

元禄7(1694)年の新年会のこと。伊予西条藩士の村上庄左衛門が悪酔いし、同僚の菅野六郎左衛門を愚弄したのが原因で、ついに二人は決闘をすることとなりました。

▼人口のうごき

人口 114,384人(+17人)
 男 54,848人(+20人)
 女 59,536人(-3人)
 世帯 48,465世帯(+29世帯)
 平成23年10月末日現在
 住民基本台帳登録数()内は前月比

▼テレホンサービス

- 市政だより 0897-53-1500 (常時)
- 当番病院 0897-58-2200 (常時)
- 災害情報 0897-55-5551 (発生時)

▼編集後記

我が家のお米は稲木がけて作っており、もうすぐ待望の新米が食べられます！初物はなんでもウキウキしますが、新米は格別に楽しみなものです。
 最近話題のTPPとは無関係に、のんびりと自家用のお米を作っているのですが、食べ物を作る苦勞を知ることは、とても大切なことだとこの年になって感じます。好き嫌いの多い私ですが、命をいただく「いただきます」を大切に、作ってくれた人に感謝して、毎日の食事を大切にしていきたいと思います。(R)

江戸郊外の田園地帯だった高田馬場にて、十人近い助っ人を集めた庄左衛門に対し、六郎左衛門は自家の若侍と草履取りという総勢3人が精一杯。それでも怯まずに決死の覚悟をした六郎左衛門に助太刀をしたのが、当時は中山姓で浪人だった後の堀部安兵衛武庸です。安兵衛は越後国の出身ですが、江戸で親身の世話をしてくれた六郎左衛門を伯父貴として敬愛していたのです。

さても決闘の後は、瓦版などで『安兵衛十八人斬り』とまで喧伝されて大ブレーク。実際、安兵衛の男ぶりに惚れ込んだ赤穂藩の堀部弥兵衛が養子縁組を頼み込み、「娘を貰ってくれるなら中山姓のままでよい」とまで懇願されて、弥兵衛の娘ほりと結婚、

赤穂浅野家の家臣となりました。夫婦仲も睦まじく過ごしましたが、しかしついに元禄15年12月14日。舅殿と一緒に本懐を果たした安兵衛。享年34。今も絶大な人気を集めつつ、同志とともに東京は高輪の泉岳寺で静かに眠っています。

さても、酒席が増える季節。有り難いご縁に感謝しつつ、お互い悪酔いにはご用心。

この稿の初メ「天嵐好。土活じや、で、に寄るのイメ「天嵐好。土活じや、で、に寄るのイメ」が、藩の言葉し、で、に寄るのイメ」が、藩の言葉し、で、に寄るのイメ」が、藩の言葉し、

西条バードウォッチング

Saijo Bird Watching

No.76 サバクヒタキ (西条に飛来した珍鳥)

全長14.5cm、ツグミ科小型ツグミ類に分類される小鳥です。繁殖地はアフリカ北部から中国西部・モンゴルで、冬期に少数が日本へも渡来します。西条では1995年12月に禎瑞下組の農耕地で発見され、翌年2月まで越冬。日本では渡来例の極めて少ない迷鳥で、全国から熱心な野鳥ファンが観察に訪れました。



撮影：十亀茂樹

広告欄

広告欄

企業メセナ忘れ落語会

上方中堅落語家 桂三風 参上!!

12月14日(水) 午前11時から
 場所：熟年コミュニティせとうち 1階ロビー
 問い合わせ：(株)ジェイコム 0897-57-8100

12月14日(水) 午後2時から
 場所：村上記念病院 6階ホール
 問い合わせ：村上記念病院 0897-56-2300

「桂ざこば独演会」ご来場ありがとうございました。
 次回も縁があれば計画したいと思います。
 西条落語を聴く会代表 小寺 秀志

補聴器と聞こえの相談会

聞こえの相談 聴力測定 最新補聴器の試聴 を行っております。

相談会日程
 <丹原地区> 12月13日(火) 9:00~12:00 丹原文化会館2階
 <西条地区> 12月21日(水) 10:00~15:00 西条市役所本庁1階

西条店では毎日無料相談を受け付けております。お気軽にご来店ください。

えひめ補聴器センター 0120-33-4449
 住所/西条市本町1-1 定休日/日・祝・第4土曜 西条市役所南側 渡部タクシー本社向かい側